

2023年4月26日

報道関係 各位

Idein株式会社

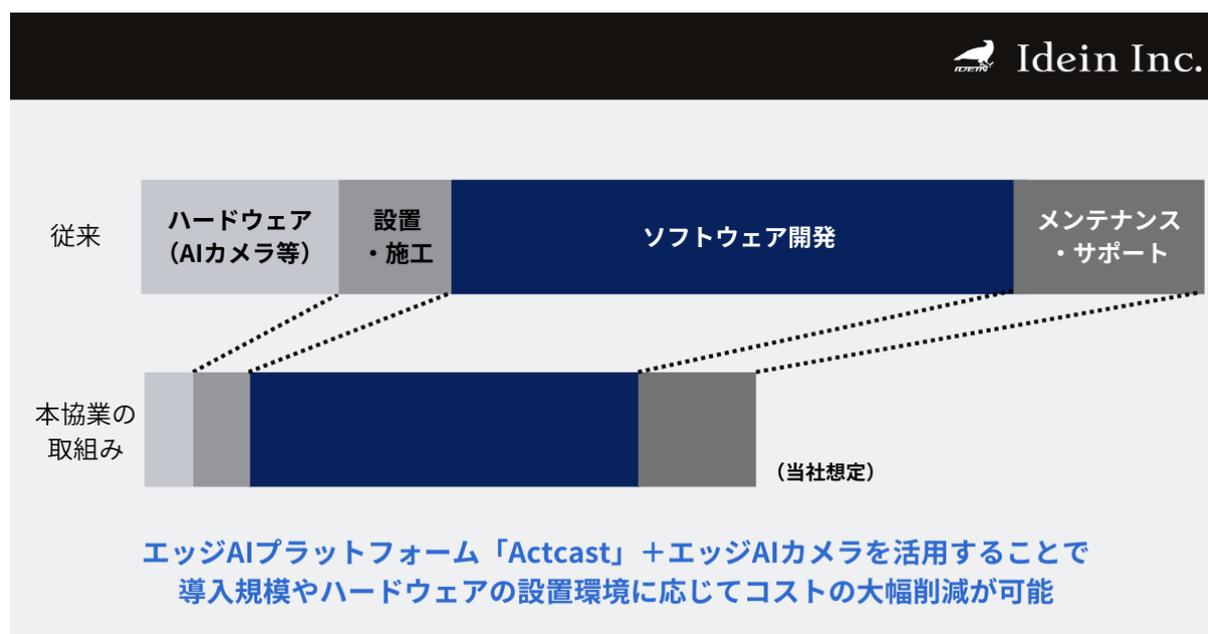
**IdeinとAMBL、小売・製造業等向けAIモデルの社会実装で協業
高度で複雑なAIモデルを「Actcast」でエッジ対応、
低コスト・迅速な大規模導入が可能に**

国内シェア2年連続No.1のエッジAIプラットフォーム「Actcast」を運営するIdein株式会社（読み：イデイン、本社：東京都千代田区、代表取締役：中村 晃一）は、AI活用を得意とするDXのプロフェッショナル集団のAMBL株式会社（読み：アンプル、本社：東京都品川区、代表取締役社長 CEO：毛利 政弘）と、AMBLが開発したAIモデルのエッジ対応に関する開発・導入支援面での協業（以下、本協業）を開始したことをお知らせします。

本協業により、Ideinの運営するエッジAIプラットフォーム「Actcast」上で、AMBLの開発した様々なAIモデルが活用できるようになるため、エッジAIの円滑な社会実装が可能になります。



エッジAIデバイス開発の観点でも、組み込み開発、死活監視、遠隔操作といったデバイス制御に関わる部分を全て「Actcast」が担うことにより、ソフトウェア開発コストを削減します。AMBLはAIの開発のみに集中することができるため、よりスピーディなAIアプリの展開が可能になります。さらに、Actcastと連携することで従来よりも安価なデバイスを使用できるようになるため、ハードウェアコストも抑えることが可能です。



AIアプリ開発とハードウェア設置にかかるコストの削減イメージの図

AMBLの開発したAIモデルのActcastへの対応は、顧客ニーズに合わせて順次実施し、実証実験も進めていく予定です。AMBLの開発したAIモデルがActcast上で公開されることで、より多くの顧客の課題解決に役立つことが期待されます。なお、本協業は以下にご紹介するActcast Partner Programの取組みの一環となります。

※1 エッジAIカメラ「AI Cast」について（当社のプレスリリース）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000056.000026271.html>

■ Actcast Partner Programについて

Actcastを活用したソリューションの開発やビジネスの支援を目的とする無償のパートナープログラムです。当社とパートナー企業、またはパートナー企業間の連携を促進させること

で、よりスピーディにプロジェクトの遂行を実現する取り組みです。すでに160社を超える様々なパートナー企業にご参画・ご活用いただいております、その業界も先進AIアルゴリズム開発企業やシステム開発企業、ハードウェア製造企業に加え、エンドユーザとなる大手事業会社等、多岐にわたっております。パートナープログラムにご登録いただくと、Actcast上で動くAIアプリを開発する際に必要なSDK（Software Development Kit）への早期アクセスが可能になるなど、オープンイノベーションの発現やビジネス機会の創出を実現します。

* 「Actcast Partner Program」に関するお問い合わせはこちら

https://www.idein.jp/ja/actcast_contact

■ AMBLのAIモデルについて

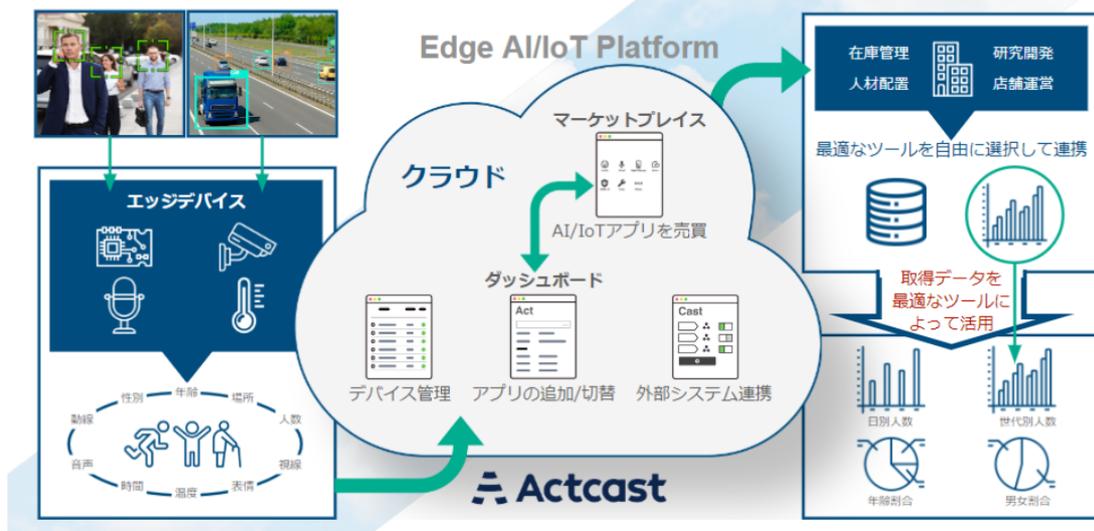
Actcastに対応するAMBLのAIモデル機能は以下を予定しています。

- ・ 白杖・車椅子検知
- ・ ベビーカー検知
- ・ 侵入検知
- ・ 渋滞検知
- ・ 車両カウント

■ エッジAIプラットフォーム「Actcast」について

Actcastは、画像や音声等の解析技術を用いて実世界のデータを収集・活用できるようにする国内シェアNo.1のエッジAIプラットフォームです。

実世界のビッグデータをAI技術を使って 大規模・リアルタイムに収集・活用するためのプラットフォーム



<「Actcast」の特長>

- ・高度なAI解析をクレジットカードサイズの小さく安価なデバイスでできるため、デバイスのコストを劇的に削減できる（通常は数十万円のデバイスを使用するようなAI解析を数千円のデバイスで使用可能）
- ・当社独自の高速化技術によりAIモデルの軽量化をすることなく最先端のAI解析ができる
- ・カメラ、マイク、温度計等を搭載したセンシングデバイス使用して、多様な実世界の情報を収集・活用できる
- ・リモートで複数デバイスの管理・運用ができる
- ・エッジAIは必要最低限の情報だけをクラウドへ送るためプライバシー・機密情報に配慮しながら利用できる

「国内シェアNo.1」について

デロイト トーマツ ミック経済研究所 『エッジAIコンピューティング市場の実態と将来展望 2022年度版』 (<https://mic-r.co.jp/mr/02530/>) 「エッジAIプラットフォームのベンダシェア（台数）」の調査結果に基づく

■両社コメント

◆AMBL株式会社 代表取締役社長 CEO 毛利政弘 氏

クラウド型からエッジ型への移行が進む中、国内シェアNo.1のエッジAIプラットフォーム「Actcast」対応のAIアプリを開発するパートナーとして、Idein様と協業できることを大変光栄に存じます。AIの社会実装は本格化したばかりです。この協業により、今まで以上に多くのお客様にAMBLの開発するAIエンジンをご活用いただき、多くのお客様のDXを実現していきたいと存じます。

◆Idein株式会社 代表取締役 / CEO 中村晃一

2020年1月にエッジAIプラットフォーム「Actcast」を正式リリースして以来、様々な企業にご関心をいただけてきましたが、この度AMBL様との協業により、「Actcast」上でお客様に利用いただけるAIアプリが益々充実することを大変嬉しく思います。AMBL様におけるDX支援の豊富な経験・知見と当社のテクノロジーを掛け合わせ、様々なビジネスの課題解決を支援してまいります。また、本協業のようにActcast Partner Programを通じて様々な企業と連携し、AI/IoTシステムの実用化と普及も加速させていきたいと考えております。

■AMBL株式会社 概要

AMBLはAI活用を得意とするDXのプロフェッショナル集団です。AIに軸足を置きながらも、クラウドネイティブ（システム開発）、UXデザイン、マーケティングという事業領域を持ち、総合的にDXを支援できることをユニークネスとしています。

AMBL

【設立日】 2001年3月9日

【代表者】 代表取締役社長 CEO 毛利政弘

【所在地】 東京都品川区大崎一丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー10階

【事業内容】 DX支援事業

コーポレートサイト：<https://www.ambl.co.jp/>

■ Idein株式会社 概要

安価な汎用デバイス上での深層学習推論の高速化を実現した、世界にも類を見ない高い技術力を有するスタートアップです。当該技術を用いたエッジAIによる現場データ収集プラットフォーム「Actcast」を開発し、実用的なAI/IoTシステムを開発・導入・活用する開発者及び事業会社へのサービス提供を行っております。今後もパート



ナー企業と共に、AI/IoTシステムの普及に貢献してまいります。「実世界のあらゆる情報をソフトウェアで扱えるようにする」をミッションに掲げ、日本国内では経済産業省 J-Startup選定をはじめ、日本経済新聞社 NEXTユニコーン企業にも選ばれています。英Arm社のAI Partnerや、米NVIDIA社のInception Program Partnerになるなど、海外でも高く評価いただいています。

【設立日】 2015年4月7日

【代表者】 代表取締役 中村 晃一

【所在地】 東京都千代田区神田神保町1-4-13

【事業内容】 Actcast事業（エッジAIプラットフォームの開発・運営）、受託開発事業（次世代自動車開発での協業等）

コーポレートサイト: <https://www.idein.jp>

本件に関するお問い合わせ

Idein株式会社 広報室 高橋（メールアドレス：pr@idein.jp）